

塩竈市教育大綱策定に向けて

(1) 塩竈市教育大綱策定に向けて

…P 1

塩竈市教育大綱策定に向けて

課題・問題点の抽出

■ 課題 1 社会を生きる力の育成

- 塩竈市学力向上プランによる基礎学力の定着、考える力の育成
- 家庭でのコミュニケーションによる基本的な生活習慣・学習習慣の定着
- いじめ、不登校の問題に対する家庭・学校・行政・相談機関による一体的な取り組み
- 9年間で子どもを育てる教育システムとしての小中一貫教育の実践と研究
- 学校施設の整備・充実と学習環境の整備

■ 課題 2 郷土への誇り・豊かな心の育成

- 地域・自然・文化芸術とのふれあいによる人を思いやる心・豊かな心の醸成

■ 課題 3 次代を担う世代を育てる地域づくり

- 児童・生徒の安全確保や学校環境の維持を目指した、地域ぐるみでの見守り体制づくり
- 開かれた学校づくりを目指した、家庭・地域への情報発信と積極的な地域との交流
- 「親」になる世代が、思いやりの心を育み、次の世代へ親子の絆を繋いでいく教育への取り組み

■ 課題 4 充実した生涯学習の提供

- 各世代における「塩竈学」への取り組みや、文化財・歴史・食文化をとおした郷土愛の育成
- 子どもと大人がともに学び、地域住民の交流場所としての教育施設づくり

■ 課題 5 心の復興と防災教育の充実

- 震災によって児童・生徒が受けた影響に対する心のケアへの取り組み
- 震災被害の認識と震災関連資料の収集・保存・活用

スケジュール

次の日程で関係者との意見交換を行いながら、現状の課題・問題を整理し、大綱骨子（案）につなげる。

- ・平成27年 8月 第3回総合教育会議（学校関係者からの意見の聴取）

【意見聴衆者】 教師代表・保護者代表・教育アドバイザー

- ・平成27年10月 第4回総合教育会議（生涯学習関係者からの意見の聴取）

【意見聴衆者】 各審議会等代表者・町内会代表者・教育アドバイザー

課題 1 - ① 社会を生きる力の育成

- ・塩竈市学力向上プランによる基礎学力の定着、考える力の育成

第1回総合教育会議での意見

- ・現在取り組んでいる少人数指導やカウンセラーの連携により学力向上に努めるべきである。
- ・現在の塩竈市の学力の傾向をしっかりと分析し、対策を講じるべきである。

- ・家庭でのコミュニケーションによる基本的な生活習慣・学習習慣の定着

第1回総合教育会議での意見

- ・基本的な生活習慣を家庭で身に着けさせることが必要である。
- ・家庭が原点・基本であり、家庭の団らんや・子どもに目を向ける時間が必要である。

課題 1 - ③ 社会を生きる力の育成

- ・学校施設の整備・充実と学習環境の整備

第1回総合教育会議での意見

- ・学校の適正な規模と配置について検討していかなければならない。

課題 1 - ② 社会を生きる力の育成

- ・いじめ、不登校等の問題に対する家庭・学校・行政・相談機関による一体的な取り組み

第1回総合教育会議での意見

- ・家庭・学校・行政が連携し、より多くの方々の協力が得られる状況をつくっていくことが大切である。
- ・地域社会と連携し、子どもたちを見守る塩竈の独自の取組があるとよい。
- ・不登校の問題について、不登校の原因をもっと分析すべきである。

- ・9年間で子どもを育てる教育システムとしての小中一貫教育の実践と研究

第1回総合教育会議での意見

- ・中一ギャップが不登校の一因であることは、数字から読み取れる。不登校対策として、小中一貫教育システムの導入方法について議論すべきである。
- ・塩竈市には浦戸の事例があるので検証すべきである。
- ・長期的には小中一貫教育というのも不登校対策の手立てにはなるのではないかな。

課題 2 - ① 郷土への誇り・豊かな心の育成

- ・地域・自然・文化芸術とのふれあいによる人を思いやる心・豊かな心の醸成

第1回総合教育会議での意見

- ・塩竈の歴史、産業の成り立ち、課題などをよく知る子どもに育てていく必要がある。
- ・塩竈の未来を担う人材育成に重点をおく必要がある。
- ・思いやりの気持ちの育成、芸術とのふれあいなど、心を培う教育が必要である。

課題3 - ① 次代を担う世代を育てる地域づくり

・児童・生徒の安全確保や学校環境の維持を目指した、地域ぐるみでの見守り体制づくり

第1回総合教育会議での意見

- ・地域社会と連携し、子どもたちを見守っていく必要がある。
- ・世代を超えてつながる場所があればよい。
- ・大人の目が多いほど非行に走らない。地域でも無関心が多すぎる。
- ・教育も子育ても地域全体の課題である。みんなで協力し合っていく塩竈方式の取組を。

・開かれた学校づくりを目指した、家庭・地域への情報発信と積極的な地域との交流

第1回総合教育会議での意見

- ・地域のみなさんが楽しく学校行事に参加しているのは素晴らしい。
- ・地域の関わりとか、乳幼児や学校との交流ができる取組を取り入れるべきである。
- ・地域との関わり、歴史文化という視点で浦戸の演劇活動は地域に根差した活動である。
- ・浦戸小中学校は、地域に支えられている。浦戸はモデルケースになるのではないかな。

課題4 - ① 充実した生涯学習の提供

・各世代における「塩竈学」への取り組み、文化財・歴史・食文化をととした郷土愛の育成

第1回総合教育会議での意見

- ・塩竈の歴史、産業の成り立ち、課題などをよく知る子どもに育てていく必要がある。
- ・塩竈の未来を担う人材育成に重点をおく
- ・思いやりの気持ちの育成、芸術とのふれあいなど、心を培う教育が必要

・子どもと大人がともに学び、地域住民の交流場所としての教育施設づくり

第1回総合教育会議での意見

- ・今は、2世代家族がほとんどで、小さい子供たちはお年寄りとお触れ合う機会も少ない。お年寄りもさびしい思いをしているのではないかな。世代を超えたつながる場所があるとよい。

課題3 - ② 次代を担う世代を育てる地域づくり

・「親」になる世代が、思いやりの心を育み、次の世代へ親子の絆を繋いでいく教育への取り組み

第1回総合教育会議での意見

- ・幼児教育・家庭教育から生きる力を育む教育について取り組む必要がある。
- ・子どもを育てる世代のお母さん方への教育が必要である。
- ・思いやりの気持ちの育成、芸術とのふれあいなど、心を培う教育が必要である。

課題5 - ① 心の復興と防災教育の充実

- ・震災によって児童・生徒が受けた影響に対する心のケアへの取り組み
- ・震災被害の認識と震災関連資料の収集・保存・活用